

翔陽 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 英語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ BRIGHTEST English CommunicationⅠ ）

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・世界の美しい絶景について知る。 ・基本文型の形・意味・用法を理解する。 ・自分が訪れたい国や地域について、調べて発表する。	Lesson1 Spectacular Landscapes	<知>基本文型の形・意味・用法を理解している。 <思>自分が訪れたい国や地域について、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>自分が訪れたい国や地域について、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	・イグ・ノーベル賞を受賞した研究について読み、身近なテーマの科学的実験について知る。 ・現在・過去・未来、進行形、現在完了形を理解する。 ・身近なテーマの科学実験について情報や経験などを話したり書いたりできる。	Lesson2 A Prize for Funny Research	<知>現在・過去・未来、進行形、現在完了形を理解している。 <思>身近なテーマの科学実験について、情報や経験などを話したり書いたりしている。 <主>身近なテーマの科学実験について、情報や経験などを話したり書いたりし手伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
	・イギリスの伝統文化である紅茶の歴史について考える。 ・後置修飾、分詞の後置修飾、関係代名詞を理解する。 ・好きな飲み物について発表する。	Lesson3 A Very British Tradition	<知>後置修飾、分詞の後置修飾、関係代名詞を理解している。 <思>好きな飲み物について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>好きな飲み物について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	・食品廃棄について理解する。 ・受動態、助動詞、助動詞＋受動態の形を理解する。 ・食品廃棄を減らすための方法について自分の考えを書くことができる。	Lesson4 The Night Bakery	<知>受動態、助動詞、助動詞＋受動態の形を理解している。 <思>食品廃棄を減らすための方法について自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。 <主>食品廃棄を減らすための方法について自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学期	・よりより行動を後押しするナッジ理論について知る。 ・SV0＋to不定詞、SVOC（C=原型不定詞、分詞）を理解する。 ・新商品について宣伝できる。	Lesson5 The Art of Changing Behavior	<知>SV0＋to不定詞、SVOC（C=原型不定詞、分詞）を理解している。 <思>新商品について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>新商品について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	・生物多様性を回復させる方法に考える。 ・動名詞、過去完了、現在完了進行形、過去完了進行形を理解する。 ・保護したい日本の自然について発表する。	Lesson6 Nature Positive	<知>動名詞、過去完了、現在完了進行形、過去完了進行形を理解している。 <思>保護したい日本の自然について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>保護したい日本の自然について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
	・卵の泡立てについて読み、食品と科学の関係を知る。 ・仮定法過去、仮定法過去完了、形式主語・形式目的語を理解する。 ・好きな卵料理について発表する。	Lesson7 Egg Whipping:Science and Food	<知>仮定法過去、仮定法過去完了、形式主語・形式目的語を理解している。 <思>好きな卵料理について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>好きな卵料理について自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	・折り紙の技術が新しい分野で応用されていることを知る。 ・関係代名詞What、関係副詞を理解する。 ・折り紙の技術を使って作りたいものについて説明できる。	Lesson8 Origami Engineering	<知>関係代名詞What、関係副詞を理解している。 <思>折り紙の技術を使って作りたいものについて自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>折り紙の技術を使って作りたいものについて自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1

3 学 期	・幸せを感じる瞬間に脳内で起こることについて学ぶ。 ・関係代名詞（非制限用法）、関係副詞（非制限用法）、比較の表現を理解する。 ・自分の日常生活を振り返り、自分が幸せに感じる瞬間について話せる。	Lesson9 Recipe for Happiness	<知>関係代名詞（非制限用法）、関係副詞（非制限用法）、比較の表現を理解している。 <思>自分が幸せに感じる瞬間について自分の考えを書いて伝えている。 <主>自分が幸せに感じる瞬間について自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	○	○	○	10
	・ユスラ・マルディニさんの実話を通して、難民問題を考える。 ・接続詞、分詞構文を理解する。 ・外国に住みたいかどうか考え、自分の意見を述べる。	Lesson10 Swimming for Peace	<知>接続詞、分詞構文を理解している。 <思>外国に住みたいか考え、自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。 <主>外国に住みたいか考え、自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							105

翔陽 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅰ

教 科： 英語 科 目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ EARTHRISE English Logic and Expression I Essential ）

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ 5 文型の考え方を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で自己紹介をできるようにする。 ・ 4 0 語程度で自分自身のことについての英文を書けるようにする。	Lesson 1 Introducing yourself	<知> 5 文型について理解している。 <思> 5 文型の考え方を利用し、WritingやSpeakingに活用している。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・ 基本時制（現在・過去・未来）の考え方を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で自身の予定を表現できるようにする。 ・ 4 0 語程度で週末の予定についての英文を書けるようにする。	Lesson 2 Visitigng Kamakura	<知> 基本時制について理解している。 <思> WritingやSpeakingに際して、適切な時制を用いて表現することができている。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	・ 完了形の考え方を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で自身の経験を表現できるようにする。 ・ 5 0 語程度で訪れたことがある場所についての英文を書けるようにする。	Lesson 3 Climbing Mt. Fuji	<知> 完了形について理解している。 <思> 完了形を適切に用いてWritingやSpeakingの課題に取り組んでいる。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・ 法の助動詞の用法を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で他者へのアドバイスができるようにする。 ・ 4 0 語程度で他者へのアドバイスについての英文を書けるようにする。	Lesson 4 Tao's experiences in Japan	<知> 法の助動詞について理解している。 <思> 適切な助動詞を用いてWritingやSpeakingの課題に取り組んでいる。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・ 法の助動詞の用法を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で自分が行っている課外活動を紹介できるようにする。 ・ 5 0 語程度で自分が行っている課外活動についての英文を書けるようにする。	Lesson 5 Belonging to the kendo club	<知> 法の助動詞について理解している。 <思> 適切な助動詞を用いてWritingやSpeakingの課題に取り組んでいる。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・ 受動態を用いた表現を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で自身のおすすめを紹介できるようにする。 ・ 4 0 語程度で外国人にお勧めしたい食べ物についての英文を書けるようにする。	Lesson 6 Various sweets containing matcha	<知> 受動態を用いた表現について理解している。 <思> WritingやSpeakingに際して適切な態を用いて表現することできている。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	・ to不定詞や原形不定詞を用いた表現を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語でやってみたいボランティア活動を紹介できるようにする。 ・ 5 0 語程度でやってみたいボランティア活動についての英文を書けるようにする。	Lesson 7 Volunteering as a tour guide	<知> to不定詞や原形不定詞を用いた表現について理解している。 <思> WritingやSpeakingに際してto不定詞や原形不定詞を用いた様々な表現を使って表現することできている。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・ 様々な形のto不定詞やto不定詞の慣用表現を知り、活用できるようにする。 ・ 簡単な英語で楽しみにしている学校行事を紹介できるようにする。 ・ 4 0 語程度で楽しみにしている学校行事についての英文を書けるようにする。	Lesson 8 Performing at the school festival	<知> 様々な形のto不定詞や慣用表現を用いた表現について理解している。 <思> WritingやSpeakingに際して効果的なto不定詞を用いて表現することできている。 <主> WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	・動名詞を用いた表現を知り、活用できるようにする。 ・簡単な英語で環境保護のためにやっていることを表現できるようにする。 ・40語程度で環境を守るための工夫や取り組みについての英文を書けるようにする。	Lesson 9 Eco-friendly restaurants	<知>動名詞を用いた表現について理解している。 <思>WritingやSpeakingに際して動名詞を用いた様々な表現を使って表現することのできる。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6	
	・分子を使った表現を知り、活用できるようにする。 ・簡単な英語で英語学習に役立つアプリを紹介できるようにする。 ・40語程度で英語学習に役立つアプリについての英文を書けるようにする。	Lesson 10 Good apps for English learners	<知>分詞を用いた表現について理解している。 <思>WritingやSpeakingに際して適切な分詞を用いて表現することのできる。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7	
	定期考査						1	
								合計
								70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科 英語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（Heartening English Communication Ⅱ ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	〔言語材料〕 未来を表す表現 時制の一致 〔言語活動〕 好きな日本文化について、インタビューする	Unit 1 Laughter without Borders 〔題材内容〕 海外で狂言を広めている、チェコ出身のオンジェイ・ヒーブル氏へのインタビューを読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	〔知〕 未来を表す表現と時制の一致を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 日本と他の国の文化について理解し、自分の考えを聞き手に伝えている。 〔主〕 聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えようとしている。	○	○	○	14
	〔言語材料〕 未来完了形 助動詞 〔言語活動〕 レシビを作成する	Unit 2 The Ongoing Voyages of Curry 〔題材内容〕 インドのカレーがどのように日本のカレーへと変貌したかについての説明文を読む。伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	〔知〕 未来完了形と助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 出来事の流れを追って説明文を読んで理解し、説明をする。 〔主〕 適切な表現を使いながら、わかりやすく説明しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1
	〔言語材料〕 助動詞＋have＋過去分詞 助動詞に関連する表現 〔言語活動〕 問題を説明しそれを解決する提案書を書く。	Unit 3 The World's Most Bicycle-friendly City 〔題材内容〕 コペンハーゲンがどのようにして世界有数の自転車都市となったかについての説明文を読む。環境の保全に寄与する態度や、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	〔知〕 助動詞＋have＋過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。助動詞に関連する表現を理解する。 〔思〕 物事を適切に描写し、それに対する解決策の根拠を示しながら説明する。 〔主〕 説得力のある説明をする英文を書こうとしている。	○	○	○	14
	〔言語材料〕 さまざまな動名詞 動名詞を使った表現 〔言語活動〕 日本と世界の顔文字の違いについて伝える。	Unit 4 Can You Feel Emotions in Text? 〔題材内容〕 国や文化による顔文字の違いについての論文を読む。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や、他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。	〔知〕さまざまな動名詞や動名詞を使った表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 物事を比較する英文を読み、正しく情報を把握し、説明する。 〔主〕 英文の情報を読み取り、評価をしながら詳細を整理して書こうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1

翔陽 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 英語 科目 論理・表現Ⅱ

單位數： 2 單位

教科 英語

国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既得の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・現在・過去・未来の表現を知り、活用できるようにする。 ・過去の出来事、未来の予定を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson1/現在形・過去形 Lesson2/未来を表す表現	<知>現在・過去・未来を表す表現について理解している。 <思>現在・過去・未来を表す表現をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	・現在完了形・過去を推量する表現を知り、活用できるようにする。 ・現在完了形・過去を推量する内容を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson3/現在完了形 Lesson4/過去を推量する表現	<知>現在完了形・過去を推量する表現について理解している。 <思>現在完了形・過去を推量する表現をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	・受動態・使役動詞・知覚動詞を知り、活用できるようにする。 ・受動態・使役動詞・知覚動詞を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson5/受動態 Lesson6/使役動詞・知覚動詞	<知>受動態・使役動詞・知覚動詞について理解している。 <思>受動態・使役動詞・知覚動詞をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・完了形の不定詞を知り、活用できるようにする。 ・完了形の不定詞を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson7/完了形の不定詞	<知>完了形の不定詞について理解している。 <思>完了形の不定詞をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・動名詞を知り、活用できるようにする。 ・動名詞の不定詞を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson8/動名詞	<知>動名詞について理解している。 <思>動名詞をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	・分詞構文を知り、活用できるようにする。 ・分詞構文を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson9/分詞構文	<知>分詞構文について理解している。 <思>分詞構文をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	・比較級・最上級の表現を知り、活用できるようにする。 ・比較級・最上級を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson10/比較 Lesson11/最上級	<知>比較・最上級について理解している。 <思>比較・最上級をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・関係代名詞の表現を知り、活用できるようにする。 ・関係代名詞を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・70語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson12/関係代名詞	<知>関係代名詞について理解している。 <思>関係代名詞をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・関係代名詞What・関係副詞の表現を知り、活用できるようにする。 ・関係代名詞What・関係副詞を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・70語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson13/関係副詞	<知>関係副詞について理解している。 <思>関係副詞をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	6
	・仮定法の表現を知り、活用できるようにする。 ・仮定法を含んだ文を英語で表現できるようにする。 ・60語程度の英文で発信したいことを明確に書けるようにする。	Lesson14・Lesson15/仮定法	<知>仮定法について理解している。 <思>仮定法をWritingやSpeakingに活用している。 <主>WritingやSpeakingの活動に積極的に参加している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和8年度（2・3学年用） 教 英語 科目 検定英語

教 科： 英語 科 目： 検定英語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2,3学年 1組～ 6組

使用教科書：（ CNN Workbook Extended Course2026 ）

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】
- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。自らの意見を論理的に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 検定英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、話題に関する自身の考えを適切に表現したりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	身近な社会問題や環境問題などに関するCNNニュースを通して、英語の音声や表現に慣れ、基本的なリスニング力・読解力を養う。また、ニュース内容について自分の考えを英語で表現しようとする態度を育成する。	CNNニュースを用いたリスニング 基本的な語彙・表現の理解 音読・シャドーイング ニュース内容の読解 簡単な要約活動 ペアでの意見交換	【知識・技能】 ニュース英語に用いられる基本的な語彙・表現・音声を理解している。 【思考・判断・表現】 ニュース内容を踏まえて、自分の考えを簡単な英語で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の出来事に関心を持ち、積極的に英語活動に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1
	身近な社会問題や環境問題などに関するCNNニュースを通して、英語の音声や表現に慣れ、基本的なリスニング力・読解力を養う。また、ニュース内容について自分の考えを英語で表現しようとする態度を育成する。	CNNニュースを用いたリスニング 基本的な語彙・表現の理解 音読・シャドーイング ニュース内容の読解 簡単な要約活動 ペアでの意見交換	【知識・技能】 ニュース英語に用いられる基本的な語彙・表現・音声を理解している。 【思考・判断・表現】 ニュース内容を踏まえて、自分の考えを簡単な英語で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の出来事に関心を持ち、積極的に英語活動に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1
2 学 期	科学技術や環境問題、国際社会に関するCNNニュースを通して、情報を整理しながら内容を理解する力を養う。また、時事的話題について、自分の意見や考えを英語で伝える力を育成する。	CNNニュースを用いた発展的リスニング 語彙・重要表現の定着 ディクテーション 要約活動 時事問題についての意見交換 英検形式問題への応用	【知識・技能】 ニュース英語特有の語彙・表現を理解し、内容理解に活用している。 【思考・判断・表現】 ニュース内容を整理し、社会的話題について自分の考えを英語で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界のニュースや社会問題に関心を持ち、自ら英語で理解・発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1
	科学技術や環境問題、国際社会に関するCNNニュースを通して、情報を整理しながら内容を理解する力を養う。また、時事的話題について、自分の意見や考えを英語で伝える力を育成する。	CNNニュースを用いた発展的リスニング 語彙・重要表現の定着 ディクテーション 要約活動 時事問題についての意見交換 英検形式問題への応用	【知識・技能】 ニュース英語特有の語彙・表現を理解し、内容理解に活用している。 【思考・判断・表現】 ニュース内容を整理し、社会的話題について自分の考えを英語で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界のニュースや社会問題に関心を持ち、自ら英語で理解・発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1

3 学 期	国際問題や社会課題に関するCNN ニュースを通して、複数の情報を関 連付けながら理解を深めるととも に、自分の考えを論理的に英語で表 現する力を養う。	CNNニュースを用いた総合的活動 音読・シャドーイング 要約・発表活動 時事問題に関するディスカッション 探究論文・意見文作成 英検・大学入試問題への応用	【知識・技能】ニュース英語に用いられる表現 や情報を理解し、総合的に活用している。 【思考・判断・表現】社会的課題について、自 分の意見を論理的に英語で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題への理解を深め、主体的に 英語でコミュニケーションを図ろうとしてい る。	○	○	○	13	
	定期考査						1	
								合計
								70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（Heartening ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。	Lesson1 What Makes Up Your Identity?	・アイデンティティを形成する要素について聞く。 ・女優のサヘル・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読む。 ・自分のアイデンティティについて話し合う。 ・自分のアイデンティティについて説明するパラグラフを書く。	○	○	○	10
	未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	Lesson2 Predicting Future Technology	・100年後の科学技術の予測について聞く。 ・発明家のニコラ・テスラが、100年前に予測した科学技術について読む。 ・未来の科学技術について話し合う。 ・未来の科学技術で最も重要なものについて自分の意見を伝える。 未来の科学技術で最も重要なものについてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。	Lesson3 The Science of Sleep	・睡眠の重要性について聞く。 ・睡眠と記憶の関係性について読む。 ・睡眠の重要性について話し合う。 ・睡眠不足から生じる問題を抱えている友人に、解決策を伝える。 ・睡眠不足によって起きる問題とその解決策についてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	Lesson4 Diversity and Inclusion	・町や企業で多様性を促進している事例について聞く。 ・文化的な多様性を促進するために重要なことについて読む。 ・多様性を促進する方法について話し合う。 ・多様性を促進するために最も重要な要素についてパラグラフを書く。	○	○	○	12
	将来のタンパク源について扱い、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	Lesson5 Protein Crisis	・タンパク源や、それらが将来不足する問題について聞く。 ・タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について読む。 ・将来のタンパク源について話し合う。 ・将来のタンパク源として最適なものについてパラグラフを書く。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	幸福論について扱い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度などを養う。	Lesson6 Different Types of Happiness	・幸福度を測定するために用いられている要素について聞く。 ・コスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む3人にとっての幸せの価値観について読む。 ・自分の幸せにとって何が大切かを話し合う。 ・自分の幸せにとって何が大切かについてエッセイを書く。	○	○	○	10
	AIについて扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	Lesson7 Pros and Cons of Utilizing AI	・AI ロボットが授業をすることへの賛否の意見を聞く。 ・AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について読む。 ・AI の良い点と悪い点について話し合う。 ・社会生活においてどの程度AIに頼るべきかについてパラグラフを書く。	○	○	○	11
	定期考査						1
	伝統工芸品について扱い、文化を尊重し、それを育んできた環境を大切にする態度を養う。	Lesson8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect	・和紙の特長やそれを作る職人の夢について聞く。 ・金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読む。 ・日本の伝統工芸品について話し合う。 ・日本の伝統工芸品の特長を説明するパラグラフを書く。	○	○	○	11
	人前での話し方について扱い、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。	Lesson9 Getting Your Message Across	・人前で話す際の言いよどみについて否定的な意見を聞く。 ・人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見を読む。 ・言いよどみの是非について話し合う。 ・スピーチをする予定の友人に、言いよどみについてのアドバイスを伝える。	○	○	○	11
	医療倫理について扱い、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	Lesson10 Medical Ethics During a Pandemic	・感染症がファッションに与えた影響や、パンデミックの予防策について聞く。 ・医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読む。 ・ジェンナーの行為の是非を話し合う。 ・有効性が確立されていない医療を試すことについて、自分の意見を伝える。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	日常的な話題について題材から必要な情報を捉える力を養う。	Real Life English 1-4	・モノログや対話（インタビュー）を聞き取る。 ・時系列で書かれた記事を読み取る。 ・聞き取った内容をもとに、スモールトークをする。 ・読み取った内容をもとに、コメント（投稿）を書く。				14
		個別指導					14
	定期考査						
							合計
							140

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：英語 科目：論理・表現Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：（be clear English Logic and Expression Ⅲ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・受動態を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 1 A City Worth Visiting	<知>受動態について理解している。 受動態を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 <思>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・動詞の形を意識してを適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 2 Our Hometowns	<知>動詞の形や時制を理解している。 動詞の形を意識して、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 <思>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 3 What Makes a City Attractive?	<知>助動詞について理解している。 助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 <思>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	・比較表現を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	<知>比較表現について理解している。 比較表現を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・差の程度を表す比較表現を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 5 Trying Something New	<知>差の程度を表す比較表現について理解している。 比較表現を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
	・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 6 The Art of Translation	<知>形容詞や副詞について理解している。 形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	・関係代名詞を用いて名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 7 Combatting Climate Change	<知>関係代名詞を用いて名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・分詞を用いて名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 8 Future Energy Sources	<知>分詞を用いて名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・不定詞を用いて名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 9 Discussing the Environment	<知>不定詞を用いて名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	・不定詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 10 Globalization and Immigration	<知>不定詞について理解している。 不定詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・動名詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 11 What is Fair Trade?	<知>動名詞について理解している。 動名詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
・不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 12 Helping to Fight Poverty	<知>不定詞と動名詞について理解している。 不定詞と動名詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。 また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5	
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期		個別指導					7
		個別指導					7
	定期考査						0
							合計

翔陽 高等学校 令和 8 年度（3 学年用） 教科 英語 科目 総合英語演習

单位数： 2 单位

使用教科書：（ Cuttin Edge Green 本冊+Navi Book（エミル出版） ）

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様な英文を読み進め、入試で必要とされる基礎的な英語力を身につける 語彙力を高める	英語で自分の言いたいことを表現する力を養う 学んだ文法事項を活用して正しい英文文を作ることができる	毎回行う小テストに取り組む 提出物を毎回欠かさず提出する 応用的な課題に対しても臆せず挑戦する力を養う

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う	Chapter 1~5	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		13
	定期考査			○	○	○	1
	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う	Chapter 6~10	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う	Chapter 11~15	単語小テスト提出物の提出状況応用問題への取	○	○		13
	定期考査			○	○	○	1
	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う	Chapter 16~18 長文問題演習	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う	実力問題	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		14
	定期考査						
							合 計
							70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 英語 科目 英語会話

教 科： 英語 科 目： 英語会話 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の理解を深めると共に、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況等に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語会話 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いて、話すこと（ディスカッションや発表）をするために、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語でその情報や考えなどの概要や要点を述べ、各テーマの詳細や関連する事柄について、自分の考えを論理的にまとめ伝えることができる力、他者との議論を展開できるコミュニケーションスキルを養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。他者とのコミュニケーションを積極的に構築していこうとする姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・自分のことを相手に伝える。 ・SDGs:1 No Povertyや2 Zero Hungerのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	・場面に応じた自己紹介 ・好きな食べ物についてのスピーチ 【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	・SDGs:3 Good Health And Well-beingのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	定期考査						0
	・SDGs:5 Gender Equalityや6 Clean Water And Sanitationのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	リサーチ活動を通して語彙力・表現力・情報収集力を高める。 他者にインプットした内容を伝える。 英語を使って効果的なプレゼンテーションや質疑応答をする。 オンラインでのディスカッションをする。	【インプット】 ・テーマについてのリサーチによる語彙や表現の理解。プレゼンテーションの内容や質問を理解する。 【アウトプット】 ・リサーチで得た内容を基に意見の構築、論理的な説明文の構築。 ・英語を使ったディスカッション ・プレゼンテーションを通じて相手に伝える。質問への受け答えをする。	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	定期考査						0
2 学 期	・休暇のことについて話す ・関心のあるニュースについて話す ・SDGs:14 Life Below waterや4 Quality Educationのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】英語の発話内容を理解する。理解した内容の語句を理解する。 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ ・聞いた内容について英語で質問をする。質問に対して英語で受け答えをする。	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	SDGs:7 Affordable And Clean Energyや8 Decent Work And Economic Growth, 9 Industry, Renovation And Infrastructureのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	定期考査						0
	SDGs:10 Reduced Inequalitiesや11 Sustainable Cities And Communities, 12 Responsible Consumption And Productionのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	・リサーチ活動を通して語彙力・表現力・情報収集力を高める。 他者にインプットした内容を伝える。 ・英語を使って効果的なプレゼンテーションや質疑応答をする。 ・自分の経験を語る	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7
	定期考査						0

3 学 期	SDGs:13 Climate Actionや15 Life On Land,16 Peace Justice And Strong Institutionのテーマや関連テーマについて英語を使ったコミュニケーションを行う。	【インプット】 ・内容の理解（リスニング） ・語彙・表現の理解 【アウトプット】 ・内容に関する意見の構築 ・英語を使ったディスカッション ・ミニスピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7	
	・尊敬している人物・気になる人物について語る ・振り返り①②（好きなテーマを使ってスキットを作って行う。）	・様々な情報源から情報を入力し、5W1Hの問いを基に情報を整理する。 ・得た情報を基に、なぜ自分がその人物について取り上げたのか、その人物を知ることによって自分は何を学んだのか、今後の自分の人生にどのように生かしていきたいのかについて英語で書く（スピーチライティング） ・ALTやJETのフィードバックを得ながらスピーチドラフトを完成させ、原稿内容を基にスピーチを行う。	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	7	
	定期考査						0	
								合計
								70